

抗がん剤療法

プロトコール登録名称

CBDCA+PTX+Bev+Atezo (ABCP,INpower150)

【プロトコール内容】

	薬剤名	投与量	投与経路	投与時間	投与日	標準投与量
	アプレピタントカプセル125mg	1 錠	経口	化学療法 開始前	1日目	
Rp1	生理食塩液	50 mL	メイン1	ライン キープ用	1日目	
Rp2	テセントリク注	1200 mg	div	初回 ※1 60 分	1日目	1200mg/body
	生理食塩液	250 mL	メイン2			
Rp3	生理食塩液	50 mL	メイン2	ルート フラッシュ用	1日目	
Rp4	ベバシズマブ	mg	div	初回 90 分	1日目	15 mg/kg
	生理食塩液	100 mL	メイン2			
Rp5	ファモチジン注20mg	1 A	div メイン1	15 分	1日目	
	ポララミン注5mg	1 A				
	生理食塩液	50 mL				
Rp6	生理食塩液	50 mL	メイン1	ウォッシュ アウト用	1日目	
Rp7	パロノセトロン注0.75mg	1 袋	div メイン1	15 分	1日目	
	デキサート注6.6mg	0.5 V				
Rp8	パクリタキセル注	mg	div	180 分	1日目	200 mg/m ²
	5%ブドウ糖液	500 mL	メイン2			
Rp9	カルボプラチン注	mg	div	60 分	1日目	AUC 6
	5%ブドウ糖液	250 mL	メイン2			
Rp10	生理食塩液	Rp1 使用	メイン1	ウォッシュ アウト用	1日目	
	アプレピタントカプセル80mg	1 錠	経口	朝食後	2,3日目	
	デカドロン錠	4 mg	経口		(2,3日目)	※医師の裁量によ り、減量・中止可能

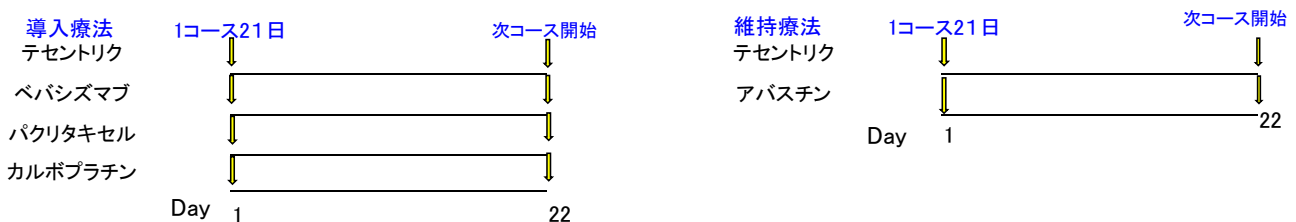
※1 テセントリクは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できます。

ベバシズマブは初回投与時の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間とすることが出来ます。

2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間とすることが出来ます。

【期間】

3週間に1回投与 導入療法:4~6コース 以降の維持療法(テセントリク、アバスチン):PDになるまで可能な限り継続



1クール21日間

4~6 サイクル実施予定